

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年2月27日

事業所名：個別療育センターあおぞら姫路教室

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---|----------------------|------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | コロナ禍の為利用者数が多少多めであるが、集団療育、個別療育、静養室、自習コーナー等のエリア分けをして目的に応じた利用の仕方は出来ている。 | はい78% わからない18% いいえ3% | 支援の仕方や送迎ルートを考慮し人数調整していく。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 法令に従った職員の配置をしている。 | はい28% わからない64% いいえ3% | 支援の仕方や送迎ルートを考慮し人数調整していく。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ホワイトボードに活動プログラム、その日の個別療育予定者、乗車する車など適切な量で提示している。バリアフリーではないが車いすの利用者にはスタッフを増員して対応している。 | はい64% わからない32% いいえ0% | 現状を維持しながら、安全に活動できるように更に努力していく。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 毎日の清掃、消毒、換気等清潔な環境を心がけている。クールダウンや一人の時間を持ちたい利用者様の為に静養室を設けている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 毎日のミーティングで1日の振り返りを行いPDCAサイクルに基づいた問題解決と業務改善に努めている。意見を自由に言える職場環境づくりに留意している。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 実施していない | | 機会があれば検討していく。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | ハラスメント研修、児発管研修で得た知識や情報をミーティングで職員間で共有している。また定期的に関係書籍に基づく学習会や検討会を催し療育の質の向上を目指している。 | | これからは外部団体による研修に参加し職員の資質向上に努めていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 利用者様とアセスメントの為の時間を十分に持ち、ニーズの把握後、担当者会議を入念に行い個別支援計画作成にあたっている。利用者様に納得頂けるまで見直しや修正を行っている。 | はい85% わからない14% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 個別支援計画の中にある長期目標、短期目標を達成するため、個別療育と集団をそれぞれの利点を活かしながら療育計画を作成している。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 個別支援計画に必要な項目の欄を設け記載している。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|-------------------|--------|--|---|--------------------|--------------------------------|
| 適切な支援の提供 t(続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 利用者様の長期目標、短期目標に照らし合わせながら、一人一人の教材を用意しマンツーマンで行う個別療育と、他の利用者様と一緒に過ごす集団活動の両輪を持って適切な支援に努めている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 日々のミーティングで当日の利用者様の状況や天候、新型コロナの状況を加味しながらスタッフ全員で意見やアイデアを出し合い利用者様に楽しんでいただける活動の立案をしている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 利用者様の事業所における滞在時間やその日の体調に合わせながらも、活動に静と動のメリハリを付け、スタッフも一緒に遊んだり、言葉かけをするなどして楽しく過ごせる工夫をしている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | コロナ禍や当日の利用者様の状況で外出がままならない時もあるが、近くの公園に小グループで出かけ屋外で過ごしたり季節のクラフトをする等変化を持たせる工夫をしている。 | はい60% わからない39% | 現状を維持しながらさらに活動の多様性を図れるよう努めていく。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 毎朝行うミーティングで送迎計画のダブルチェックや読み合わせ、申し送り内容等の情報共有、当日行う利用者様の支援における留意点について確認共有している。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 当日支援終了後や次の日の朝のミーティングで利用者様について情報共有する機会を持っている。常日頃位からスタッフ間でコミュニケーションの機会を多く持ち、その都度話し合い共有を図っている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 利用者様には連絡帳でその日の支援内容についての情報をお伝えしている。事業所においては利用者様の個人記録を当日中に記している。その中の懸案事項は担当者会議や日々のミーティングで共有し対策や療育内容の変更等につなげている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 半年ごとに保護者様と個別支援計画について一緒に振り返り、まだ達成できていない目標については療育内容の検討をし必要に応じて軌道修正をしている。達成できた場合は新しい課題を設けて療育計画を | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|---|----------------------|--|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 相談支援事業所様の御提案に応じて、保護者様、学校関係者様を交えた担当者会議に参加している。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 相談支援事業所、保護者様、学校関係者様、事業者の参加する担当者会議の中で十分な情報交換の場を頂けている。 | | コロナ禍で集会を持つことは難しい昨今だが、コロナの状況が緩和された後は事業所から担当者会議を要請出来るよう努めたい。 |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | まだ卒業した利用者様がおられず答えられない | | 卒業していく方がこれから出てきたら、情報提供していく。 |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 利用者様が通院されている病院の言語聴覚士の先生との連携が叶い、それに準じた形で当事業所でも言語トレーニングを提供できているがこのようなケースをもっと増やしたいと思う。 | | 専門機関での研修受講についての情報を集めていきたい。 |
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | コロナ禍ということもあり、他の施設への訪問、交流はできていない。 | はい3% わからない57% いいえ35% | 社会の動きと新型コロナの発生状況を鑑みながら検討していく。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | コロナ禍ということもあり、地域住民との交流はできていない。 | | 社会の動きと新型コロナの発生状況を鑑みながら検討していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--|--|-----------------------|--|
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時に説明をしている。 また、利用者様との家庭連携の電話や日頃の会話の中で随時質問に応じている。 | はい100% | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 契約時に書面で行うと同時に、施設案内や活動風景の見学、体験に応じ入所前に出来るだけ多くの情報を提供してご利用者様のニーズに合う事業所であるかご検討いただいている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 面談や家庭連携の電話などでご相談に応じてはいるが特別にペアレント・トレーニングの機会を持つことはできていない。 | | 講演会や研修などの機会を設けお子様の成長と一緒に考えていける取り組みを増やせるように努めたい。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳、家庭連携の電話、モニタリング、送迎時の申し送りなどでその日の活動の様子や共通理解すべき事柄について利用者様とまめにコミュニケーションできるよう努めている。 | はい89% わからない10% いいえ1% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | ご要望に合わせて家庭連携の面談や電話でご利用者様との時間をゆっくり持つようにしている。子育ての悩み等について一緒に考え、必要に応じてご助言させて頂きお子様の変化を伝えあっている。 | はい78% わからない17% いいえ3% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | コロナ禍ということもあり、父母会等の会合は実施できていない。 | はい7% わからない28% いいえ57% | コロナ禍が落ち着いたら状況を踏まえ実施したい。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 苦情に対しては、迅速に面談や電話にて対応している。改善点についてミーティングを重ね改善策を考え利用者様にお伝えしている。内容によっては相談事業所様と連携を持ち、客観的な見地からの意見を頂いている。 | はい57% わからない42% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 誤解を防ぐために、できるだけ面談で行うことを心がけている。 また日頃からの利用者様とのコミュニケーションを大切にしている。 | はい67% わからない25% いいえ3% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 利用者様個人個人に対する情報共有のみで定期的な会報はなかった。 | はい35% わからない42% いいえ17% | 個人情報に留意しながらHPや教室だより等のツールで利用者様の活動や様子をお伝えできるよう工夫したい。 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 契約時に個人情報使用書に同意して頂き、担当者会議などの情報交換が必要な時のみ関係機関の間で個人情報を共有する了承を得ている。それ以外は個人情報流出を防ぐよう努めている。 | はい82% わからない17% | 現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|---|-----------------------|--|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 契約時に連携している医療機関についてはご説明している。マニュアルについては事業所内で周知情報共有しているが、利用者様にはお伝えしていない。 | はい39% わからない39% いいえ14% | 利用者様にも安心してご利用していただけるよう緊急マニュアルの周知を検討する。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 避難訓練を行ってはいるが回数は十分ではなかった。 | はい28% わからない53% いいえ7% | 定期的な訓練を実践する。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 虐待をテーマにスタッフとの担当者会議で話し合いをし注意喚起を図っている。外部、内部で研修の機会を設けたり、外部の研修に参加してなかった。 | | 虐待に対するスタッフ間の共通理解を図るために外部団体主催の研修会に参加したい。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 身体拘束を行う場合の組織的な決定はなかった。 | | 身体拘束に対しての取り決めに検討していく。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 食物アレルギーに関して利用者様にご提出いただくサポートブックにその記載がありスタッフ間で周知徹底している。医師からの指示等については同様にサポートブックにてご教示いただいている。 | | 間違いが起こらないよう、さらにスタッフ間で周知徹底していく。いつでもチェックし、注意喚起できるよう工夫する。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ひやりはつがあった場合、当日中に当事者による経緯報告のための記録を徹底している。ミーティングで情報共有し、事故を未然に防ぐための対策を迅速に講じている。 | | 現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。 |
| 満足度 | 1 子どもは通所を楽しみにしているか。 | | はい91% どちらともいえない8% | |
| | 2 事業の運営支援に満足しているか。 | | はい90% どちらともいえない9% | |